

# 彼方 【かなた】

校長通信

H30.12.21

Vol.27

【努力は裏切らない！】



文集「かつしか」に投稿する原稿の中に、プロサッカー選手のメッシの言葉を思い出しながら一生懸命頑張っている生徒の作文がありましたので、少し紹介します。

彼が所属するサッカーチームで、今年の六月に一軍と二軍を分ける決定戦が組まれていました。「絶対に一軍に入ってやる！」という強い気持ちで四月から二ヶ月間一生懸命練習してきました。ところが残念ながら彼は一軍に入ることができませんでした。ものすごく落ち込んで、大好きなサッカーを辞めようとして考えてさうです。努力が報われなかったのです。でも以前にも同じようなことがあり、そのときは人一倍努力し、一軍に上がることができたので、それを思いだし、報われない努力を続けることにしたのです。そのときもう一つ思い出したのがメッシの言葉です。「報われない努力ではなく、報われるまで続けることが努力なのだ。」という言葉です。彼は、今まで自分がやってきたことは努力ではなかったかと思いついたのです。改めて一軍に入れるまでありとあらゆることを頑張ろうと心に決めました。練習態度はもとより、挨拶や

学校生活、学習、練習準備、片付け等、自分ができるところをすべてやっていこうと決心し、報われるまで絶対に続けようと心に誓って取り組んできました。今は、練習試合で一軍として出場させてもらう機会も増えてきているそうです。今度その組み替え戦が予定されているそうです。「きつと大丈夫！」と心から応援したくなりました。

さて、皆さんは、今本気で何かに取り組んでいることはありますか？当然ながら三年生は、『本気で卒業後の進路を実現させること』と答えると思います。これから入試の人は、必死に勉強することと思えます。すでに決まっている人もいますが、その人は入学後のイメージを膨らませて今のうちに準備すべきことに全力で取り組むと思います。二年生は学校の中心として授業や部活、委員会活動、三年生を送る会、学校生活の改善等に、一年生は、今の学級での思い出づくりや二年生と一緒に目指すべきこと、自分の目標実現に向けて、本気で頑張れると思います。

中学校時代は、社会で生きて働くための「脳」をしっかり鍛えていかなければならない時期です。そのためには「**何をするかを心に決めること**」が大切です。それまでできるだけ具体的に決めなければなりません。そうすると「脳」は、使うものをより強化し、使わないものを衰退させようとしやすくなります。やろうとすることをよりやりやすく、やろうとしないことはやらずにすむように思考（脳）や身体が作られていきます。例えば、早起きを本気で頑張ろうとすると、朝目覚ましをかけなくても自然に起きられる身体になっていきます。「そんなの無理！」と思っ

て生活しているといくら起こされても起きない身体になっていきます。下手をすれば夜中に起きて昼に寝るような昼夜逆転の身体が作られていくのです。

「本気で」何かに取り組む、報われるまで努力を続けるというのは、未来を切り拓き、生き抜くための「脳」を作ることに他ならないのです。この一年を振り返り、表向きのやる気だけで、行動が何も変わらないうり組みをしていたのか、まだ結果にはつながっていないけれど、それまでとは違う意識で行動しているのか、再確認してみてください。そういう「振り返り」が、自分のこれからの本気の行動を決めていきます。その行動が決まれば、あとは習慣化するまで続けていく努力をするだけです。そうすれば「脳」は勝手にそれをやりやすいように身体を作ってくれます。「**意識が行動を変え、行動が習慣を変えていく！**」という所以です。

私から皆さんへ宿題がひとつあります。それは、今年一年を振り返り、「**何をするか**」**決断（意識）**することです。そして、大晦日の沈む夕日に一年の無事を感じ、初日の出に自分の「決断」を誓いながら、手を合わせて新たな一歩を踏み出してほしいと思います。

最後に始業式で皆さん全員と元気にこの体育館で再会できることを願って、終業式の挨拶とします。

